

山口 光

YAMAGUCHI Hikaru

山口 光

YAMAGUCHI Hikaru

1989 埼玉県生まれ、現在は神奈川県で活動。

2019 多摩美術大学 美術研究科 博士前期課程 絵画専攻 油画研究領域 修了

2017 横浜美術大学 美術学部 美術学科 絵画領域 絵画コース 卒業

受賞歴・助成

2019 若手彫刻家助成制度 公益財団法人河野文化財団

2017 横浜美術大学 平成 28 年度学長表彰 学長賞

2016 横浜美術大学 平成 27 年度学長表彰 奨励賞

2015 横浜北部美術展 2015 / アートフォーラムあざみ野 優秀賞

個展

2020 画廊からの発言「新世代への視点 - 山口光個展 -」 / galerie SOL、東京

2017 そこにある、あいまいなものたち / 黄金町サテライトスタジオ HAMABI AIR、神奈川

グループ展・公募展

2022 imagining 横浜美術大学助手展 / 横浜赤レンガ倉庫、神奈川

2021 3331 ART FAIR 2021 / 3331 Arts Chiyoda、東京

2021 「ニクイホドヤサシイ / 千の窓」展 02 / 優美堂、東京

2021 Independent Tokyo / 東京都立産業貿易センター 浜松町館、東京

2020 10 の探究 - 知のかたちを展く - / ASJ TOKYO CELL、東京

2019 imagining 横浜美術大学助手展 / 横浜美術大学、神奈川

2019 現代造形表現作家フォーラム展 / 東京都美術館、東京

2019 花とみどり・いのちと心展 / 花みどり文化センター、東京 (' 18 年)

2019 M PICTURE 2019 / galerie SOL、東京

2018 絵画 2018 / galerie SOL、東京

2017 平成 28 年度 横浜美術大学卒業制作展 / 横浜赤レンガ倉庫、神奈川

2017 神奈川県美術展 / 神奈川県民ホールギャラリー 入選、神奈川 (' 16 年)

2016 コトバ・カタチ展 / 画廊楽、神奈川

2015 TETSUSON2015 / 3331 Arts Chiyoda、東京

2015 極小展 in summer / galerie SOL、東京



鏡よ鏡よ鏡さん
Error, Mirror
ミラーフィルム
Mirror film
H:1800×W:6000mm×D:900mm
2022

この作品におけるミラーフィルム（集合体）がもたらす像・光・音の連続性は、パンデミックや災害、海や空といった得体の知れない未知の塊を象徴するものであり、またそこに映し出されている自分自身でもあります。ミラーフィルムは見えない世界の中で自身と相対する装置となります。長さ 1.8m に裁断されたミラーフィルム約 2400 本を通じて、鑑賞者が刹那な時間の繰り返しによって紡ぎ出される万物の動静を感じ、そこに含まれる意味や本質を自身との向き合いを通じて感じ取って頂きたいと思えます。





Independent Tokyo 2021 展示風景

主催：Tagboat

東京都立産業貿易センター浜松町館

2021/8/7 (Sat) -8/8 (Sun)

撮影時間：2021/8/8 (Sun) 18:08

山口光 《1000個のレモン石鹸 / Independent Tokyo 2021》 2021, Soap, Variable

“私は、レモン石鹸を展示会場に配置します。あとは、来場者の方に制作を委ねます。”

この作品は個包装された1000個のレモン石鹸を展示会場に配置し、それを来場者の方に持ち帰っていただくという参加型の作品です。展示されたレモン石鹸を持ち帰るという行為。それは美術における彫像と似た行為であると私は考えています。持ち帰ることによって削られていく像はそこに誰かがいた痕跡を私たちに伝えてくれます。そして持ち帰った石鹸は、私たちがそこにいたという記憶を留めてくれます。「誰かがそこにいた。そして、そこに私もいた。」

そんな日常をかたちある像として、私は留めておきたい。





imagining 2019_第4期 展示風景

出展作家：石川慎平 / 柏木健佑 / 金親敦 / 重松慧祐 / 山口光

横浜美術大学 3号館1階 石膏室

2019/12/16 (Mon) -12/20 (Fri)

撮影：石川慎平



無題

Untitled

ミクストメディア / 油絵の具、アクリル板、カッティングシート

Mixed media / Oil paint, Acrylic plate, Cutting sheet

可変

2019

共同制作：柏木健佑

撮影：石川慎平



無題
Untitled
ミクストメディア
Mixed media
H:1100×W:470mm
2019
撮影：石川慎平

この作品は、梱包材が巻かれた状態で台座の上に展示されている。梱包に時間がかかり、解くのが「もったいない」という気持ちからこのような形式で展示を行う発想に至った。ファインアートには「作品制作の終わりをどこに設けるか。」という問いがある。今回、私はこの作品の終着点をここに設けることにした。

...trai-je, M
Depuis que
ndre ; Mon c
vre sans am
De fleurs il f
e disant : « B
toi ; L'amour



(左から)

無題

Untitled

ミクストメディア/アクリル板、ステッカー
Mixed media / Acrylic plate, Sticker sheet

H:1050×W:450mm

2019

撮影：石川 慎平

無題

Untitled

ミクストメディア/アクリル板、カッティングシート
Mixed media / Acrylic plate, Cutting sheet

H:1050×W:450mm

2019

撮影：石川 慎平



ポールサイン _ ローソン

Pole sign_Lawsone

ミクストメディア / 木製パネル、アクリル絵具

Mixed media / Wood panel, Acrylic paint

H:1329×W:1320mm

2018

撮影：石川慎平

ものや空間は、見る位置やものが置かれた位置といった外的要因によって異なる認知を得る。今回の展示会場は、会場の入り口に向かう導線に沿って、片側一面がガラス張りのショーウィンドウのような造りになっている。私たちは、その会場の内側に入って鑑賞をすることもできれば、外側からも見ることができる。本展では、この絵画を入り口までの導線上に、裏面して展示を行ってみた。



imagining

The Research Associate Exhibition 2019



imagining 横浜美術大学助手展 2019

YOKOHAMA UNIVERSITY OF ART& DESIGN

2019 | 11.25 | MON | — | 12.20 | FRI

imagine + ing = 想像すること、つくり続けること

横浜美術大学に助手として籍を置く作家による展覧会「imagining 横浜美術大学助手展 2019」を開催致します。2年目を迎える本展は、各研究室より有志20名が参加し、学内スペースにて4会期にわたるグループ展形式で行われます。

本学の助手は、大学において教育支援の役割を果たす一方で、作家・研究者の顔を持ち、それぞれの領域で自身の研究・制作活動に取り組んでいます。創作を続けながら社会との関わりを持ち続けようとする本学助手の多様な表現をご覧くださいとともに、うつろいゆく現代において、「つくり続けること」について思いを寄せていただければ幸いです。

schedule

10:00 - 18:00 土・日休館（各会期 / 全日共通）

【第1期】

11月25日（月）
～29日（金）

飯田菜津美
稲津あや子
越智波留香
下鳥日那子
宮崎みどり

【第2期】

12月2日（月）
～6日（金）

徳増洋乃
鳥越義弘
今村翠
鈴木秋乃
橘彩香

【第3期】

12月9日（月）
～13日（金）

村尾信太郎
司香菜
福田真雪
三好風太
山内奏

【第4期】

12月16日（月）
～20日（金）

石川慎平
柏木健佑
金親敦
重松慧祐
山口光

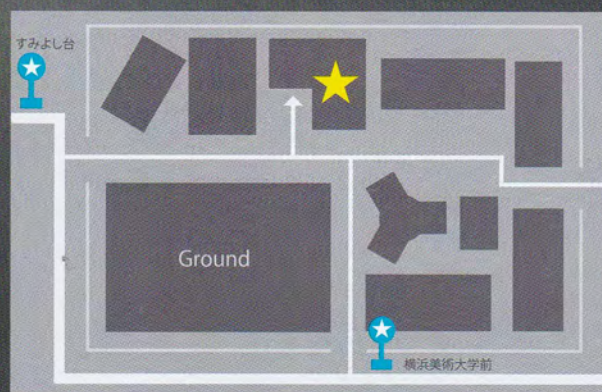
access

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1204
横浜美術大学 3号館1階 石膏室

横浜美術大学への経路

- 東急電鉄田園都市線 青葉台駅バスターミナル
- ・4番のりばより東急バス青61番「日体大」行
「すみよし台」もしくは「横浜美術大学」下車（約10分）
 - ・5番のりばより東急バス青118番「奈良北団地」行
「すみよし台」下車（約10分）

★3号館：横浜美術大学構内 グラウンド向かいの白い建物



imagining

横浜美術大学 助手展 2019
imagining - The Research Associates Exhibitions 2019
contact : yokobijoshuten2018@gmail.com

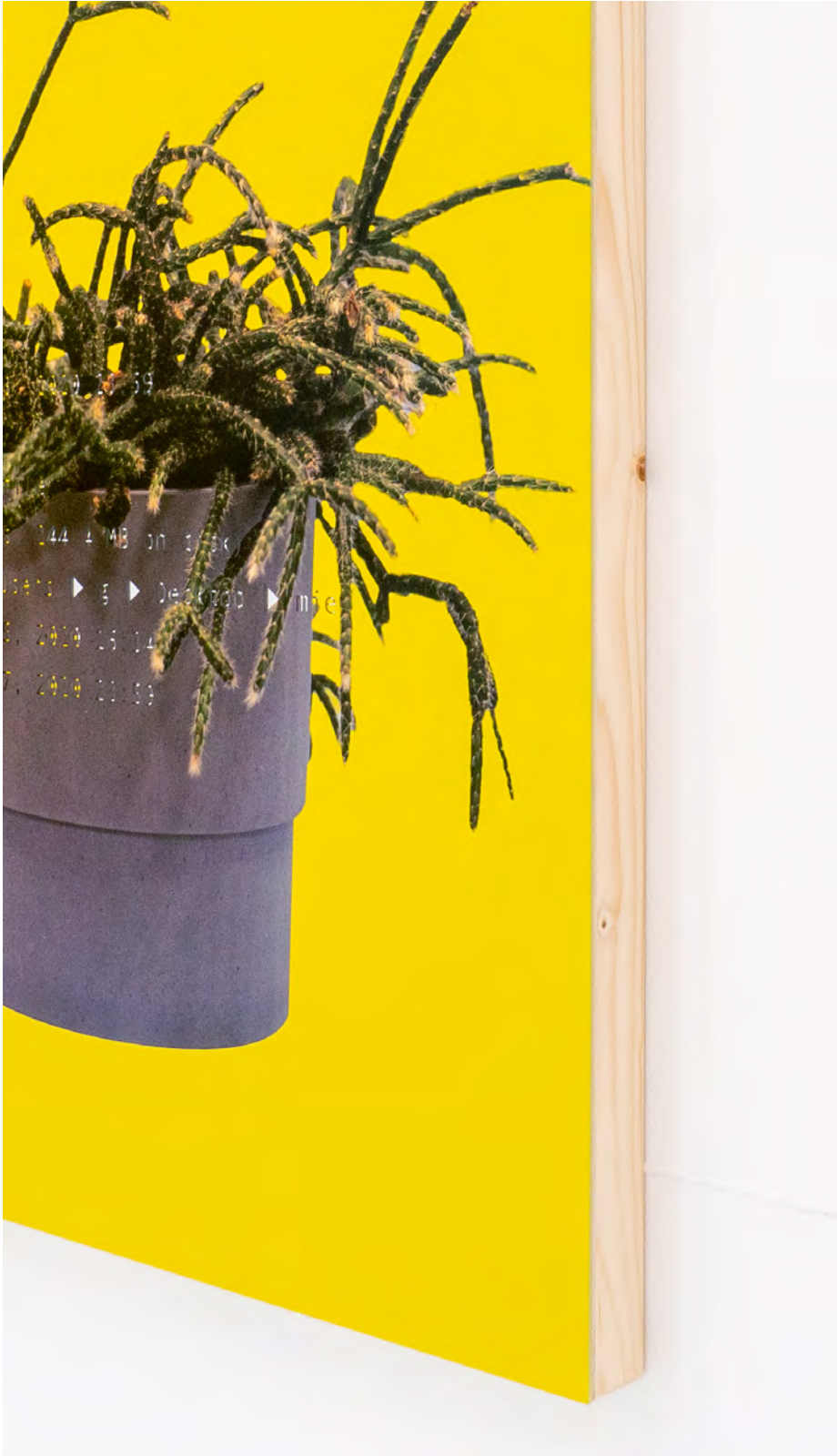


学校法人トキワ松学園
横浜美術大学
YOKOHAMA UNIVERSITY OF ART & DESIGN

<https://www.yokohama-art.ac.jp/>



画廊からの発言
新世代への視点 2020 - 山口 光 個展 - 展示風景
主催：東京現代美術画廊会議
GALERIE SOL
2020/7/27 (Mon) -8/8 (Sat)





(左から)

June 28, 2020 00:07_mie.jpg

June 28, 2020 00:07_mie.jpg

ミクストメディア / アクリル板、UV印刷

Mixed media / Acrylic plate, UV printing

H:900×W:900mm

2020

May 25, 2020 18:35_hiroshi.jpg

June 28, 2020 00:07_mie.jpg

ミクストメディア / アクリル板、UV印刷

Mixed media / Acrylic plate, UV printing

H:450×W:900mm

2020

June 1, 2020 19:49_hiroshi.jpg

June 28, 2020 00:07_mie.jpg

ミクストメディア / アクリル板、UV印刷

Mixed media / Acrylic plate, UV printing

H:450×W:900mm

2020



造花_レモン
Artificial Lemon
ミクストメディア
Mixed media
H:120×W:60mm
不明

みえちゃん
Mie - chan
多肉植物
Succulents
可変
不明



画廊からの発言 「新世代への視点 2020 - 山口光 個展 - 」 展示風景



(左から)

Preserve pictuers 28 April, 2020

Preserve pictuers 28 April, 2020

ミクストメディア / アクリル板、カッティングシート

Mixed media / Acrylic plate, Cutting sheet

H:480×W:560mm

2020

Preserve pictuers 1 July, 2020

Preserve pictuers 1 July, 2020

ミクストメディア / アクリル板、カッティングシート

Mixed media / Acrylic plate, Cutting sheet

H:480×W:560mm

2020

ポールサイン _ ローソン

Pole sign_Lawsone

ミクストメディア / 木製パネル、アクリル絵具

Mixed media / Wood panel, Acrylic paint

H:1329×W:1320mm

2018



無題

Untitled

ミクストメディア / アクリル板、ステッカー
Mixed media / Acrylic plate, Sticker sheet

H:1050×W:450mm×2

2019



黄色い存在

The yellow line

ミクストメディア / アクリル板、木製パネル
蛍光灯、電線

Mixed media / Acrylic plate, Wood panel, Fluorescent light
Electrical wire

H:1700×W:100mm×2

2020



無題

Untitled

ミクストメディア / 木製パネル、UV 印刷
LED ライト、電線

Mixed media / Wood panel, UV printing, LED light, Electrical wire
可変



1



2

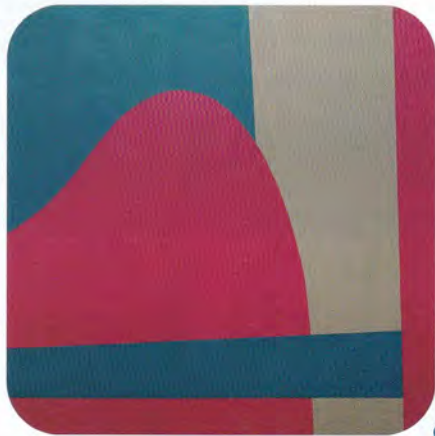


3

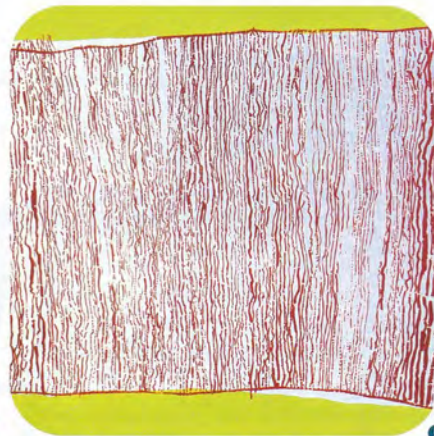
Statements from Galleries Focusing on a new generation in Tokyo 2020

- 1 ギャラリーなつか.....川名晴郎 Kawana Haruo
- 2 コバヤシ画廊.....黒宮菜菜 Kurumiya Nana
- 3 ギャラリーイK.....雷康寧 ルイ・ホンネイ Josephine H.N. Lui
- 4 ギャラリー東京ユマニテ.....カサハラメイ Kasahara Mei
- 5 藍画廊.....酒井みのり Sakai Minori
- 6 ギャラリーQ.....金昭希 キム・ソヘ Kim Sohee
- 7 ギャラリー58.....小野木亜美 Onogi Ami
- 8 GALERIE SOL.....山口光 Yamaguchi Hikaru

画廊からの発言 新世代への視点2020



4



5



6

2020年
7月27日[月]~8月8日[土]

11:30am-7:00pm (最終日 5:00pm)
日曜日休廊・入場無料

Mon. 27 July - Sat. 8 August, 2020.
Closed on Sunday, last day 5:00pm

主催：東京現代美術画廊会議



7



8

画廊からの発言 新世代への視点2020

8画廊が推薦する40歳以下の新鋭作家による個展を各会場にて開催します。

主催：東京現代美術画廊会議

ギャラリーなつか
川名 晴郎 Kawana Haruo
.....絵画

ギャラリー東京ユマニテ
カサハラ メイ Kasahara Mei
.....平面

ギャラリーQ
金 昭希 キム・ソヒ Kim Sohee
.....絵画

コバヤシ画廊
黒宮 菜菜 Kuromiya Nana
.....絵画

藍画廊
酒井 みのり Sakai Minoru
.....版画

ギャラリー58
小野木 亜美 Onogi Ami
.....絵画

ギャラリーIK
雷 康寧 ルイ・ホンネイ Josephine H.N. Lui
.....立体

GALERIE SOL
山口 光 Yamaguchi Hikaru
.....インスタレーション

ギャラリーなつか
Gallery Natsuka
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-4-2 フォーチュンビル 1F
TEL 03-6265-1889 FAX 03-6265-1884
Email: seeds@gnatsuka.com
http://gnatsuka.com/

コバヤシ画廊
Gallery Kobayashi
〒104-0061 東京都中央区銀座 3-8-12 ヤマトビル B1F
TEL 03-3561-0515 FAX 03-3561-7859
Email: kbysg@gf6.so-net.ne.jp
http://www.gallerykobayashi.jp/

ギャラリーIK
Gallery K
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7 京橋ポイントビル 4F
TEL&FAX 03-3563-4578
Email: galleryk@nifty.com
http://galleryk.la.coocan.jp

ギャラリー東京ユマニテ
Galerie Tokyo Humanité
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-5-3 京栄ビル 1F
TEL 03-3562-1305 FAX 03-3562-1306
Email: humanite@js8.so-net.ne.jp
https://g-tokyohumanite.com/

藍画廊
ai Gallery
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-5-2 西勢ビル 2F
TEL&FAX 03-3567-8777
Email: k-mikiko@b3.so-net.ne.jp
http://igallery.sakura.ne.jp/

ギャラリーQ
Gallery Q
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-12 楠本第 17ビル 3F
TEL&FAX 03-3535-2524
Email: contact@galleryq.info
http://www.galleryq.info/

ギャラリー58
Gallery 58
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-4-13 琉映ビル 4F
TEL&FAX 03-3561-9177
Email: gallery-58@abelia.ocn.ne.jp
http://www.gallery-58.com/

GALERIE SOL
ガルリソル
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-5-2 西勢ビル 6F
TEL 03-6228-6050 FAX 03-6228-6059
Email: g-sol@cg7.so-net.ne.jp
http://www005.upp.so-net.ne.jp/SOL

●事務局：藍画廊
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-5-2 西勢ビル 2F
TEL&FAX 03-3567-8777

新世代への視点スタンプラリー

参加画廊の展示をご覧いただき、各画廊にて備えた応募用紙にスタンプを集めてください。8画廊全てのスタンプを集めた方には3つの特典をプレゼント!

特典 1.....[新世代オーディエンス賞 2020]

〈観客が選ぶアーティストの作品をプレゼント〉

8画廊の中から最も良かったアーティストを1名選んで応募してください。最多得票のアーティストに投票していただいた方の中から抽選で1名様に、該当アーティストの作品(5万円相当)をプレゼントいたします。(プレゼント作品は、作家・事務局側にて選ばせていただきます旨、予めご了承ください。)

〈応募方法〉

応募用紙にご自身のお名前、最も良かったアーティスト名、選んだ理由、ご住所、電話番号(メールアドレス)をご記入の上、いずれかの参加画廊にご提出ください。

締め切り:8月8日(土)

当選結果は厳正な抽選のもと、ギャラリーQのウェブサイト内「新世代への視点2020」にて発表させていただきます。
http://www.galleryq.info/

特典 2.....[作品代金10% OFF]

応募用紙の提示で作品の購入代金10%を割引させていただきます。「新世代への視点2020」の期間に購入され

た作品に限定。作品代金お支払いの際に購入された画廊にお問い合わせください。クレジットカードでのお支払いは不可とさせていただきます。)

特典 3.....[ドリンクプレゼント]

先着200名様にドリンクを1本プレゼントいたします。いずれかの参加画廊にて応募用紙をご提示ください。

参加無料

「新世代への視点2020 トークイベント」

出品作家の作品紹介とともに、現在の日本美術界の動向をお話しいたします。

登壇者：五十嵐卓(SOMPO美術館学芸員)、出品作家
進行：上田雄三(ギャラリーQ)

日時：2020年7月27日(月) 5:00~6:30pm

会場：銀座洋協ホール(東京都中央区銀座6-3-2
ギャラリーセンタービル6階)

定員：先着50名

予約受付：各参加画廊にて受付

締め切り：7月20日(月)

新型コロナウイルス感染防止のため、来場者はマスクの着用をお願いします。

「緊急事態宣言」が発令された場合は中止いたします。



「ニクイホドヤサシイ / 千の窓」展02

会期 2021年10月1日(金) - 12月19日(日)

会場 優美堂(東京都千代田区神田小川町2-4)ギャラリー

開館時間 11:00 - 18:00



優美堂プロジェクトは、市民ボランティアとともに優美堂の大量の額を運び出すことから始まり、建築改修、運営計画と進んできました。

千の窓とはまさに言葉通り1000点の優美堂の額に入った作品の展覧会であり、優美堂再生プロジェクトに関わってくれた人々とアーティストが一体となったアートプロジェクトです。

額縁は建築的に「窓」と置き換えられる、日常性と精神性を行き来するメタファーです。

額は世界を視るフレームであり、近代を象徴する概念でもあります。

その「窓」から見える景色を「見慣れぬ景色へ」と重ね合わせ千の景色を五百人のアーティストの表現と協同し可視化し、体験化していきます。

「ニクイホドヤサシイ」は優美堂の電話番号291-8341からきており、「やさしく美しい 優美堂」がキーコンセプトとなっています。出展アーティストは『やさしさ』と優美堂の象徴である『富士山』をテーマに各1点、制作しています。

廃棄されてしまう予定であった額を優美堂再生の原資として活用した本展覧会。貨幣経済と贈与経済の在り方について、改めて考察がなされる現代において、一石を投じることができると考えています。

出展アーティスト：中村政人、アーツ千代田3331、実行委員においてキュレーションし300~500人のアーティストを選考する。

「ニクイホドヤサシイ／千の窓」展 02

主催：東京藝術大学大学院中村政人研究室

共催：優美堂再生プロジェクト実行委員会

一般社団法人 東京ビエンナーレ

優美堂

2021/10/1 (Fri) -12/19 (Sun)

(左から)

封・G・3 (フジサン)

Mt.FUJI

ミクストメディア / アクリル板に紫外線硬化型インキ

Mixed media / Acrylic plate, on U.V Inks

可変

2021

テーマ：富士山

私たちの中に富士山を知らない人はいません。しかし、富士山を本当に知っている人もいません。富士山とは何なのでしょう。蒼天を仰いでたおやかに佇む姿も、登山服の色彩が人工路に列を成す姿も、どちらも富士山です。そのように現実世界の事物が永遠に帰結する事の無い原理を、カットした額縁に反映し、その内部に富士登山の記憶・思い出 (過去) を封じ込めました。3次元世界のゆらめきによって変容する富士山を感じて下さい。

岳淵

Untitled

ミクストメディア / アクリル板、木材

Mixed media / Acrylic plate, Wood

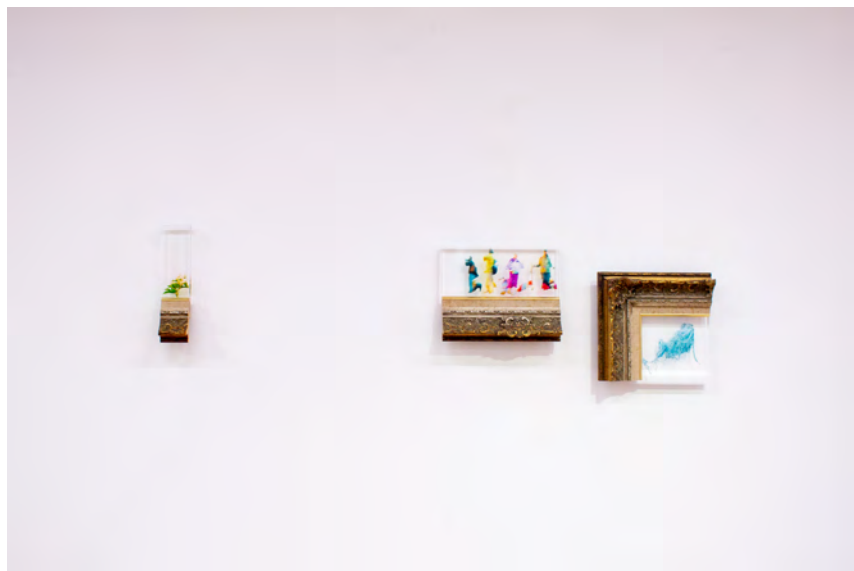
H:434×W:143mm

2019

テーマ：やさしさ

「やさしさ」とは激しいもの (岳)・沈んだもの (淵) を包み込み、穏やかな状態へと導く想いです。「やさしさ」をどう求めるか、「やさしさ」をどう表現するかは、人によって千差万別です。人々が求める多様な「やさしさ」は、直接的に伝わるものではなく、想像と寄り添いによって感じるものです。

この作品では額縁に合わせた不透明なアクリルボックスを制作し、その内部に優美堂さんの額縁を収めました。鑑賞者に見えない額縁を想像してもらう・想像する行為を通じて、「やさしさ」の求め方、表現の仕方を創造して頂きたいと願います。





無題

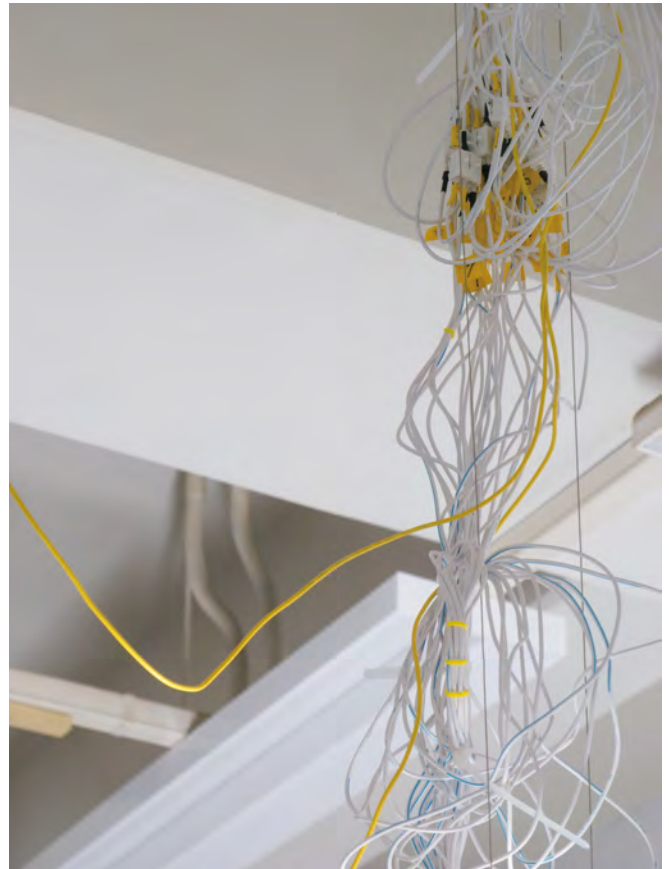
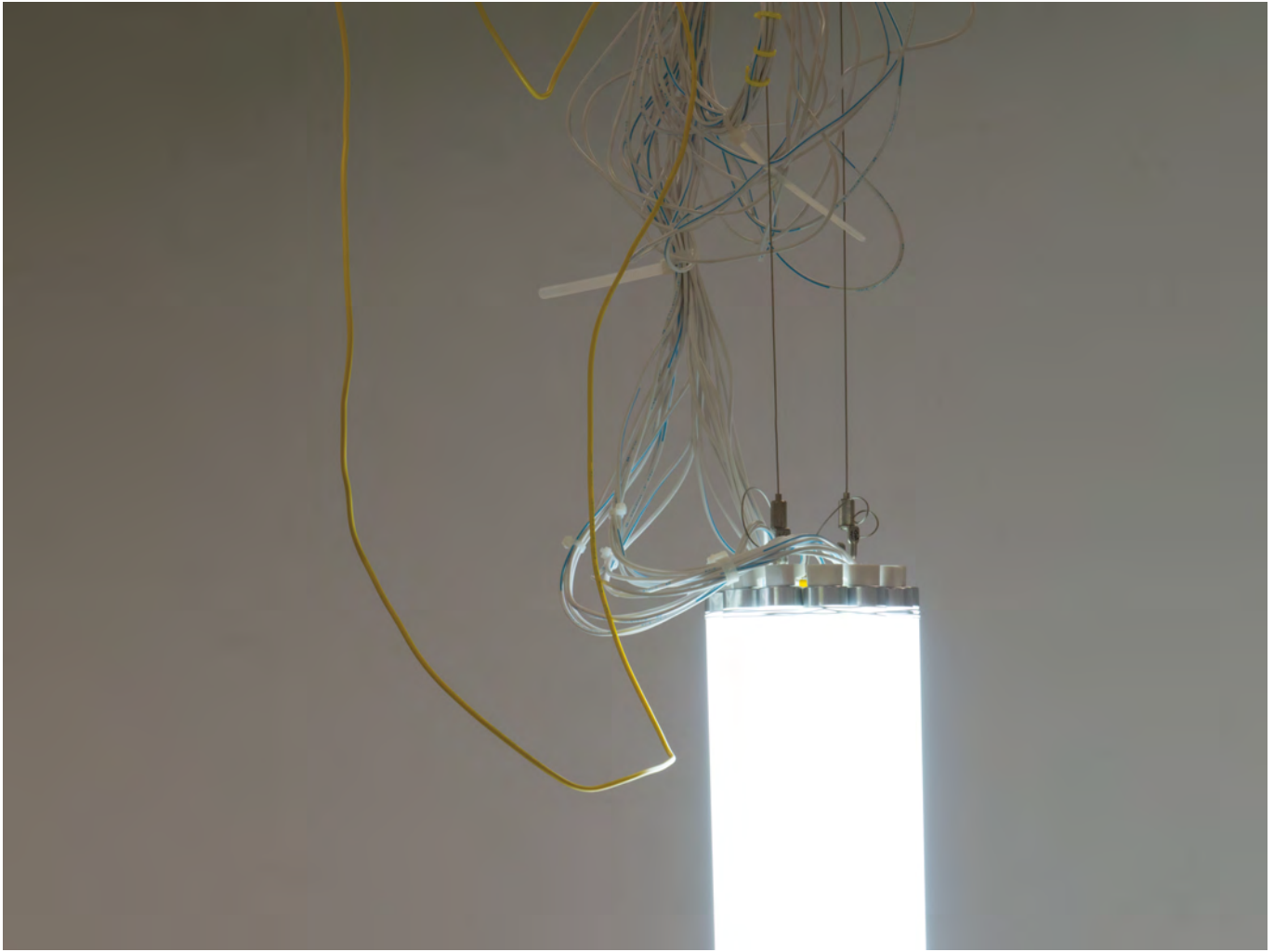
Untitled

ミクストメディア / 電線、LED 蛍光灯

Mixed media / Electrical wire, LED Fluorescent light

可変

2020



無題
Untitled
ミクストメディア / 電線、LED 蛍光灯
Mixed media / Electrical wire, LED Fluorescent light
可変
2020



第5回 花とみどり・いのちと心展 展示風景
国営昭和記念公園 花みどり文化センター
2018/11/21 (Wed) -12/16 (Sun)



無題
Untitled
ミクストメディア / LED ライト、鉄パイプ
Mixed media / LED light, Iron pipe
可変
2018



平成28年度 横浜美術大学卒業制作展 展示風景
横浜美術大学 4号館3階
2017/2/16 (Thu) -2/19 (Sun)

転化

Inversions

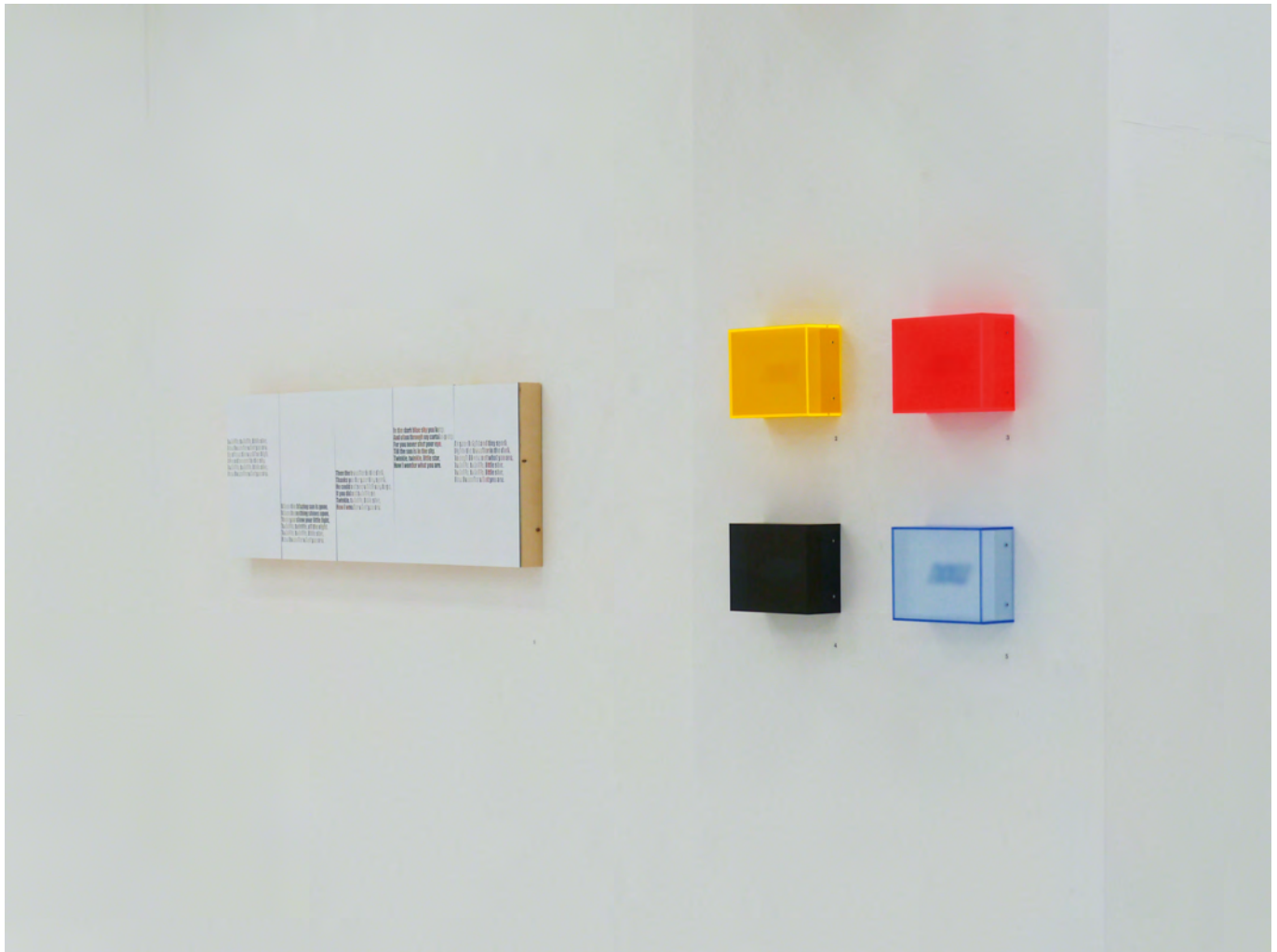
ミクストメディア / アクリル絵の具、油絵の具、アクリル板、木製パネル、蛍光灯、電線
Mixed media / Acrylic paint, Oil paint, Acrylic plate, Wood panel, Fluorescent light, Electrical wire

可変

2017

表面に異なった色彩・マチエールを施した乳白色のアクリルボックスと5色18本の蛍光灯で組み合わせた作品。「メディウムと支持体と壁面」、「絵画空間と現実空間」、「内と外」をキーワードに制作した作品。





M PICTUER 2019 展示風景

出展作家：飯美樹 / 奥西千早 / 小久保聡子 / 廣本佳菜 / 水登麻里子 / 山口光

GALERIE SOL

2019/04/15 (Mon) -04/27 (Sat)



揺らぎ

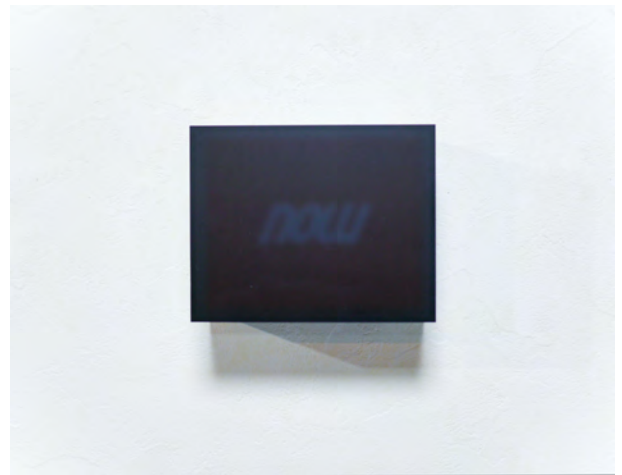
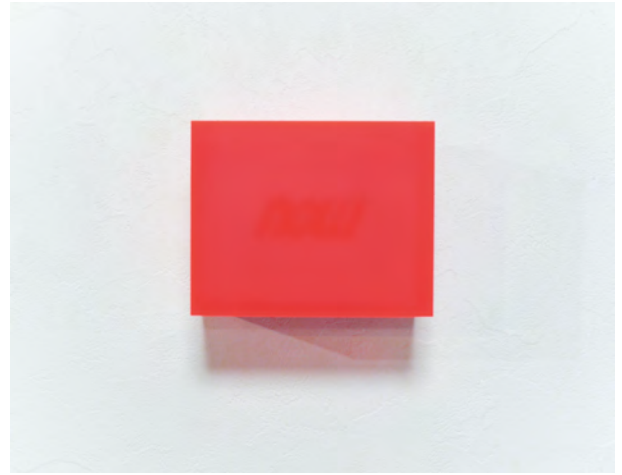
Fluctuation

ミクストメディア / アクリル板、カッティングシート

Mixed media / Acrylic plate, Cutting sheet

H:320×W:180mm×5

2019



無題
Untitled
ミクストメディア / アクリル板
Mixed media / Acrylic plate
H:120×W:150mm ×4
2019



絵画 2018 展示風景

出展作家：白井忠彦 / 平原辰夫 / 山口光

GALERIE SOL

2018/10/08 (Mon) -10/13 (Sta)

X ばい -X= 『 』-

現代において、誰しもが何気なく耳にし、口にする「～ばい」という言葉は、どこか可愛らしく、曖昧で適当なそぶりを見せる。

この『ばい』という接尾語は、いかにもそういう印象を与える様子であること、または、そのモノの性質の特徴的な一端を持ち合わせている様子、それに通じる要素が感じられる様子を表す。「X “ばい”」、即ちこれは、対象の中に「X ではない」という古典的な性質と、「X のような」という前者に抵抗する X 的な性質とが、二重に内在していることを私達に提示していることとなる。私は、この「X “ばい”」に内在する「X のような」性質こそ X の本質を捉えているのではないかと考えている。

モノはいくつかの性質を持ち合わせており、それらの性質が時代や文化、環境に影響を受けつつ、相補的に作用し、昇華されることによって単一の価値として提示され、私達にそのモノの価値を認識させる。本展では、『絵画』をテーマに絵画という昇華された単一の価値を提示するのではなく、『ばい』という多重性を保持したモノの状態を制作・展示することを試みた。



No,1920030021006 xxx
 No,1920030021006 xxx
 ミクストメディア / 空き箱、PVC カード
 Mixed media / Empty box, PVC card
 可変
 2018



無題
 Untitled
 ミクストメディア / 圧縮袋、変形パネル
 Mixed media / Vacuum storage bag, Shaped panel
 可変
 2018



無題

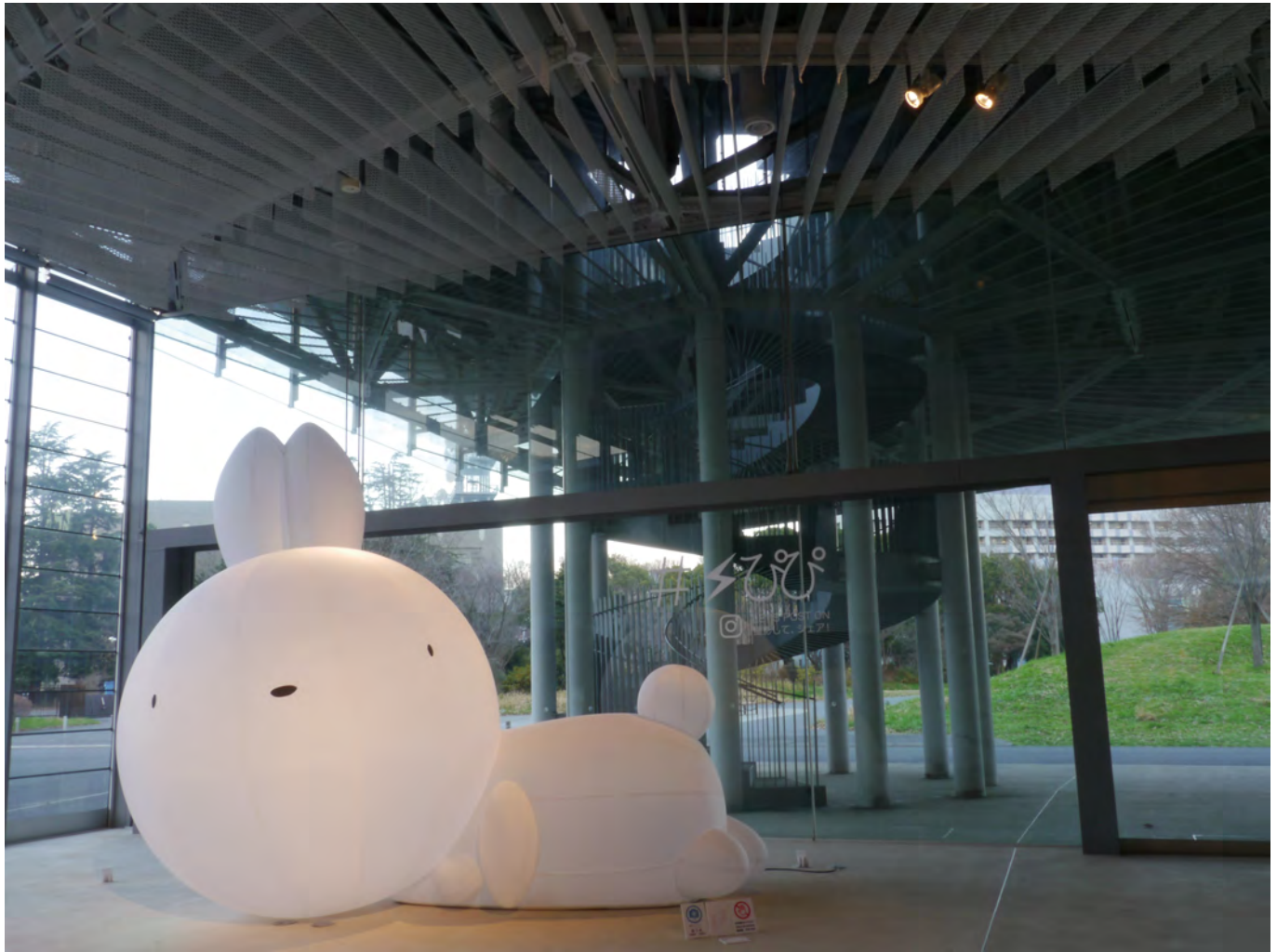
Untitled

ミクストメディア / 圧縮袋、布

Mixed media / Vacuum storage bag, Cloth

可変

2018



第6回 花とみどり・いのちと心展 展示風景
国営昭和記念公園 花みどり文化センター
2019/12/07 (Sta) -01/05 (Sun)

#pipipi

#pipipi

ミクストメディア / インフレーターバルーン
Mixed media / InflatableBallon

H:3250×W:3900×D:2250mm

2019



(左から)

ポールサイン_ファミリーマート

Pole sign_Family Mart

ミクストメディア/アクリル絵具、木製パネル
Mixed media /Acrylic paint, Wood panel

H:1329×W:1450mm

2018

ポールサイン_セブンイレブン

Pole sign_Seven-Eleven

ミクストメディア/アクリル絵具、木製パネル
Mixed media /Acrylic paint, Wood panel

H:1609×W:1349mm

2018

ポールサイン_ローソン

Pole sign_Lawson

ミクストメディア/アクリル絵具、木製パネル
Mixed media /Acrylic paint, Wood panel

H:1329×W:1320mm

2018

-条件を変える-

サインポールとは日常的に目にする野外設置された大型の看板のことです。このサインポールの大半は、地上 2~6m といった高さの場所に設置され、100m~300m 先を運転しているドライバーに向けて、その場所にどんなコンセプトをもった、どんな種類のお店が存在するのかを、瞬間的に、また明確に、宣伝・広告・誘導を行うための看板です。

本作品では、実物大のサインポールの絵画作品を制作し、室内空間で展示を行いました。室内という、それまでとは異なる距離や時間、空間といった条件を与えることで、サインポールが持つデザインの価値を排除し、造形物に新たな目的・価値を見出すことができるのではないかと考え、制作した作品。



多摩美術大学での展示風景



QR コード

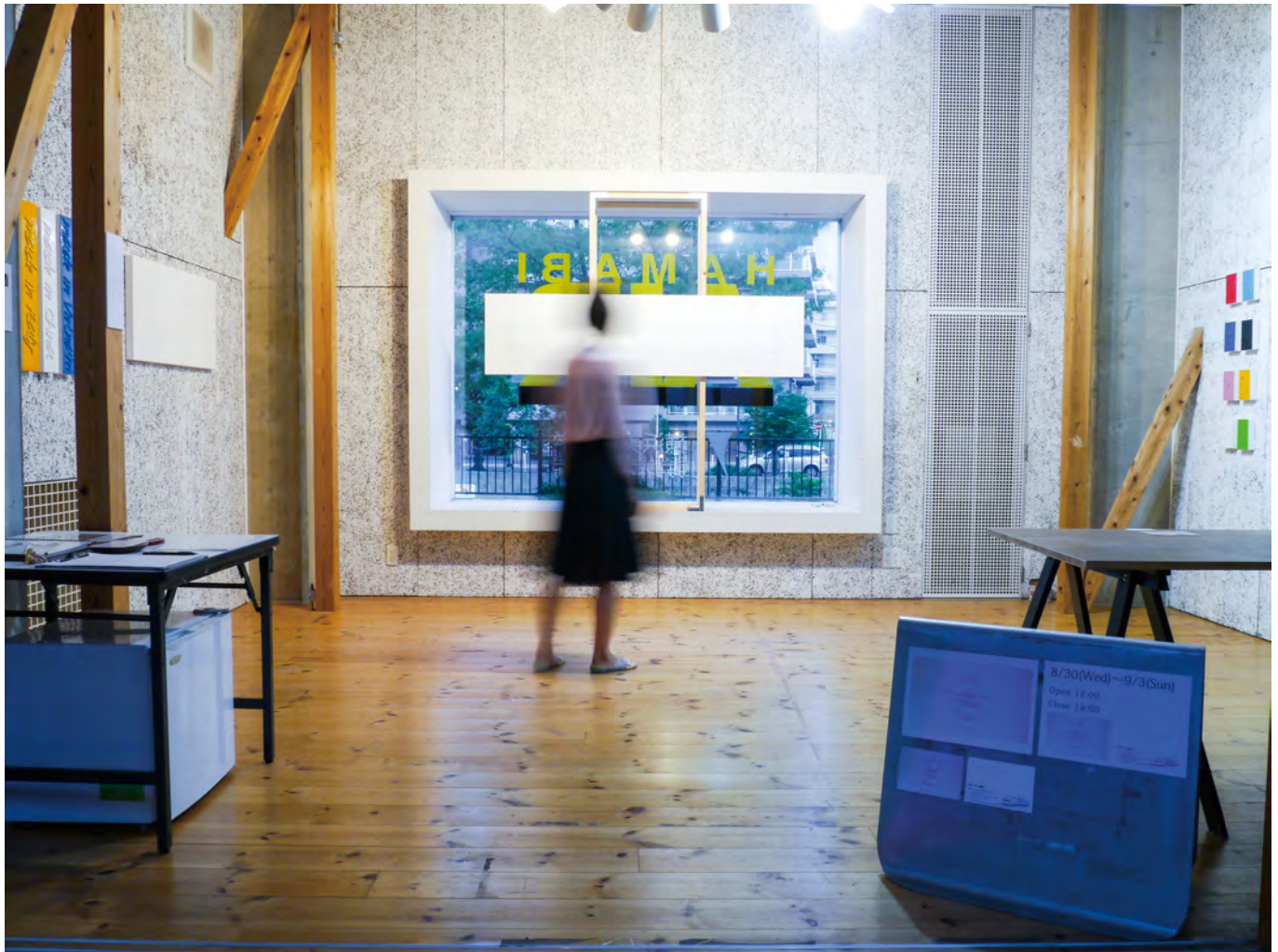
QR Code

ミクストメディア / 木製パネル、アクリル絵具

Mixed media / Wood panel, Acrylic paint

H:850×W:850mm

2018



そこにある曖昧なものたち 展示風景
 横浜美術大学黄金町サテライトスタジオ「HAMABI AIR」
 2017/08/30 (Wed) -09/03 (Sun)

纏う - 平面と立体のあいまいな境界線 -

この「纏う」という言葉には、【全体または、部分的に巻きつくようにする・からみつかせる】【身につける・着る】といった意味があります。また、日本独自のニュアンスが含まれており、ただ単に服を着るだけでなく固有の美意識が成熟するのを“待とう”という呼びかけの意味もあり、そこには空気感というものも含まれております。

本シリーズの作品は、コラージュを施した支持体にメディウムを「垂らし込み」や「スプレー塗装」などの技法を用いて色彩や塗料の膜を張ることで形成されています。目に見える表面には変化や主張を持たない均一な色彩と物質だけが広がり、時間の経過とともにその内側に存在する物質の曖昧な輪郭だけが浮き彫りになります。そこには、「内と外」「平面と立体」といった対極する事物の曖昧で不明瞭な存在が一体化し表出されます。

事物の本質は、対極する 2 つ以上の事柄を対立させることで生まれるものではないと、私は考えております。纏うことで生まれる「あいまいな境界線」の彼方に本質的な何かを求め、制作したシリーズです。



刻印
 Imprinted
 ミクストメディア / アクリル絵の具、木製パネル
 Mixed media / Acrylic paint, Wood panel
 H:100×W:600mm×6
 2017



そこにある曖昧なものたち 展示風景
 横浜美術大学黄金町サテライトスタジオ「HAMABI AIR」
 2017/08/30 (Wed) -09/03 (Sun)



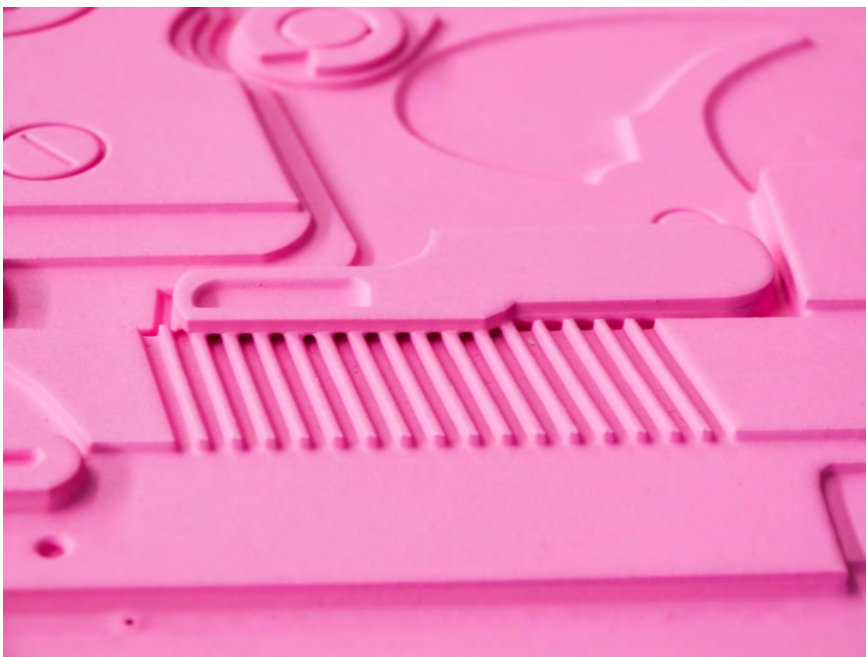
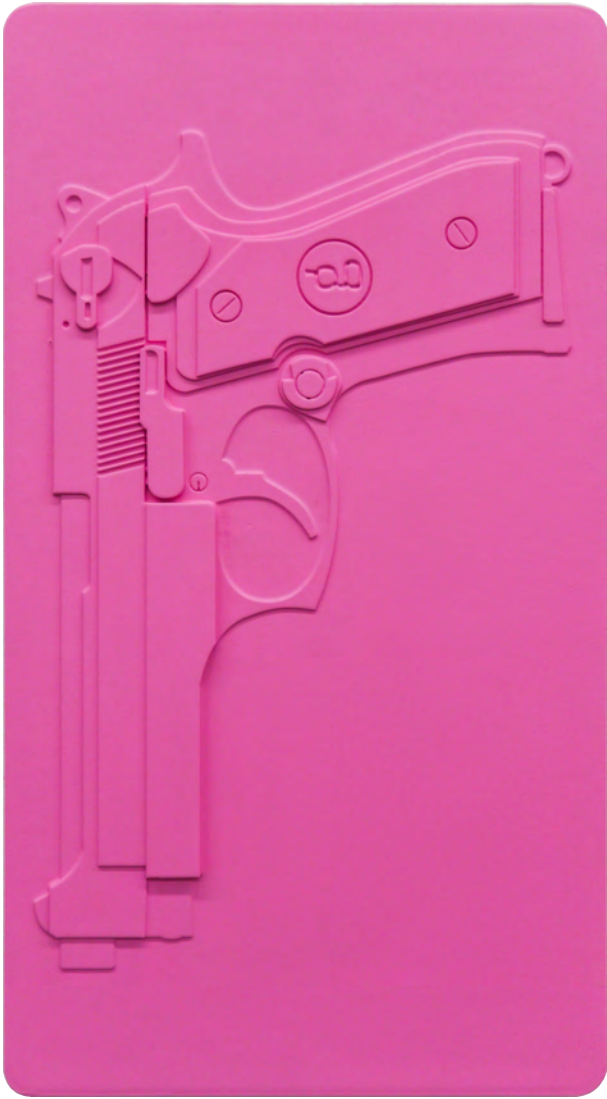
(左から)

性
 Gender
 ミクストメディア / アクリル絵の具、木製パネル
 Mixed media / Acrylic paint, Wood panel
 H:100×W:150mm×8
 2017

ボーダレス
 Borderless
 ミクストメディア / アクリル絵の具、木製パネル
 Mixed media / Acrylic paint, Wood panel
 H:900×W:450mm×2
 2017



多摩美術大学での展示風景



無題
Untitled
ミクストメディア / アクリル絵の具、木製パネル
Mixed media / Acrylic paint, Wood panel
H:900×W:450mm×2
2017



オーディオ
audio
ミクストメディア / アクリル、オイルパステル
Mixed media / Acrylic paint, Oil pastel
H:1463mm *W:926mm *D:631mm
2016



AND B (上)
AND B
アクリル/アクリル絵の具、オイルパステル、木製パネル
Acrylic painting /Acrylic paint, Oil pastel, Wood panel
F130
2015

AND B (下)
AND B
アクリル/アクリル絵の具、オイルパステル、木製パネル
Acrylic painting /Acrylic paint, Oil pastel, Wood panel
F130
2016

作り話

Fiction

ミクストメディア / スタイロフォーム、アクリル絵具、パステル

Mixed media / Styrofoam, Acrylic paint, pastel

H:1120×W:2400×D:350mm

2016

キャンバスに描いた二次元の対象物をモチーフに制作した立体作品。人は形や空間をどのように捉え、イメージの構築を行なっているのか。

普段、私たちは三次元の対象物を二次元に還元するプロセスで絵を描いている。そのプロセスにおいて、抽象化されたイメージ像を本制作では三次元に空間に還元することを試みた。また、その立体物を支持体とした絵画制作も取り組んだ。一連の行為を通じて各次元における表現の特質と欠如の追求、そこに生ずる差異の模索を行なった作品。



汚れたシート

A dirty seat

ミクストメディア / アクリル絵具、オイルパステル
Mixed media / Acrylic paint, Oil pastel

H:740×W:710×D:920mm

2015

IKEA で購入したイスにペイントを施した作品。





横浜美術大学での展示風景



可動型絵画

Moving Paint

アクリル/アクリル絵の具、オイルパステル、木製パネル
Acrylic painting / Acrylic paint, Oil pastel, Wood panel

H:2740×W:4143mm

2016



あるコンペに出品した際に、展示された自らの作品を観て感じた疑問をもとに制作した作品。

この作品は、絵画の『枠』の存在からの解放を模索し、アトリエで制作した複数枚の作品を、移動・分解・結合・再加筆といった制作プロセスの繰り返しを行った。一連の過程において生ずる境界のズレや無秩序な画面構成と対峙することによって、新たな絵画表現の探求を行なった作品。



を越えて (上)
Beyond
アクリル/アクリル絵の具、オイルパステル、木製パネル
Acrylic painting /Acrylic paint, Oil pastel, Wood panel
H:1820×W:2970mm
2016

縞馬 (下)
zebra
アクリル/アクリル絵の具、オイルパステル、木製パネル
Acrylic painting /Acrylic paint, Oil pastel, Wood panel
F150
2015

